

## 第6期報告書（最終案）に係る意向照会の結果

## &lt;集計&gt;会長を除く全委員（14名）より回答

	意見概要	報告書(素案)の該当箇所		提出された意見	意向照会の結果			
		頁	素案(原文)		修正案	賛	否	保留
1	報告書の提出先を追記する。	1	このたび、令和2年度及び3年度の2か年の取組みに関し、「自治基本条例の適切な運用に関する事項について 第6期越谷市自治基本条例推進会議報告書」を取りまとめましたので、越谷市自治基本条例推進会議設置条例(以下、「設置条例」という。)第2条第2項の規定に基づき提出します。	このたび、令和2年度及び3年度の2か年の取組みに関し、「自治基本条例の適切な運用に関する事項について 第6期越谷市自治基本条例推進会議報告書」を取りまとめましたので、越谷市自治基本条例推進会議設置条例(以下、「設置条例」という。)第2条第2項の規定に基づき市長に提出します。	12	2	-	なし
2	第4期の「指標及び報告事項」作成に関する記述を修正する。	3	その後、第3期推進会議での検討を踏まえ、第4期推進会議が、条例の認知のほか、参加、協働、情報共有及び市政運営に関し、46の数値指標と15の報告事項で構成される評価体系を完成させました。	その後、第3期推進会議での検討を踏まえ、第4期推進会議が、条例の認知のほか、参加、協働、情報共有及び市政運営に関し、46の数値指標と15の報告事項で構成される評価体系を決定しました。	12	2	-	(賛)「整えました」とか「作成しました」はどうですか
3	提言内容のうち、今後の指標のあり方に関する記述を修正する。	7	今後、指標による検証を行いながら、必要に応じて新たな指標を設定するなど、機会を捉えて見直しを続けていくことが望ましいと考えます。	今後、指標による検証を行いながら、必要に応じて新たな指標を設定し、特に行政の執行状況だけでなく、 <u>活きた市民活動の状況がわかるような指標のあり方を工夫することも検討するなど</u> 、機会を捉えて見直しを続けていくことが望ましいと考えます。	10	3	1	(否)「活きた市民活動」の意味が不明の為  (保)討議して欲しい
4	提言内容の最後に、今後の指標の方向性に関する記述を追加する。	7	今後、指標による検証を行いながら、必要に応じて新たな指標を設定するなど、機会を捉えて見直しを続けていくことが望ましいと考えます。	今後、指標による検証を行いながら、必要に応じて新たな指標を設定するなど、機会を捉えて見直しを続けていくことが望ましいと考えます。 <u>これまでの10年間は、新しい条例が広く認知されることを目安に考えてきましたが、これからは、更にその条例の目指しているものが市民にどれだけ息づき始めているかを注視していくことが大事であると考えます。</u>	9	4	1	(否)「市民にどれだけ息づき始めているか」の意味が不明、「注視していくことが大事」は言及し過ぎる為  (保)討議して欲しい

※修正案を採用する場合は「賛」、素案のままとする場合は「否」

## &lt;結果&gt;

4件全ての意見を第6期報告書（最終案）に反映する。

## 【参考】照会の概要

(1)第6期越谷市自治基本条例推進会議報告書（素案）に係るご意見（ご回答）について

照会期間：令和3年12月9日～12月23日

照会結果：①報告書（素案）全般 意見4件  
②条例の運用に関する指標 意見なし

(2)第6期報告書（素案）に対するご意見を報告書（最終案）に反映することに係る意向照会について

照会期間：令和4年1月4日～1月13日

照会結果：上記のとおり